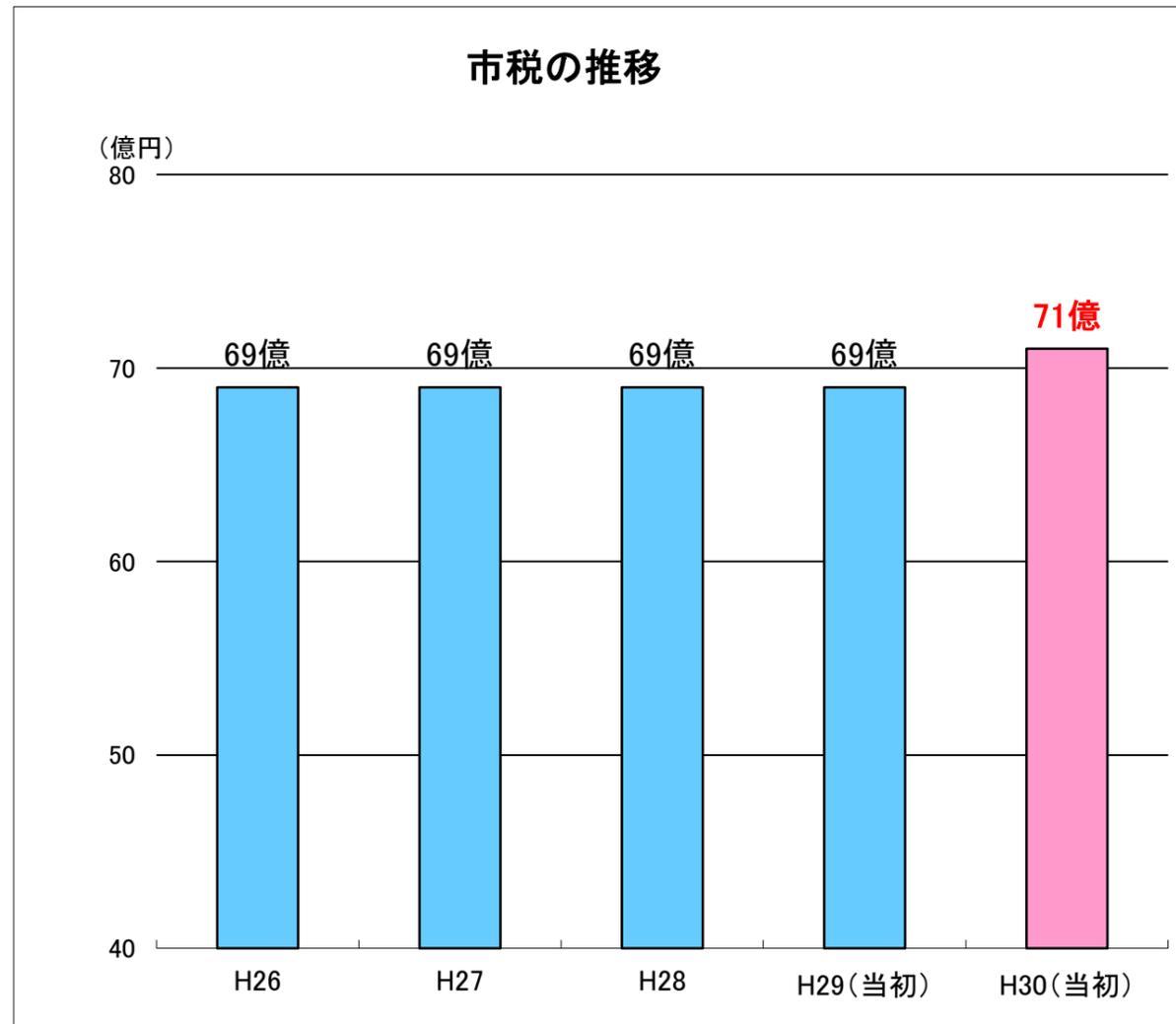
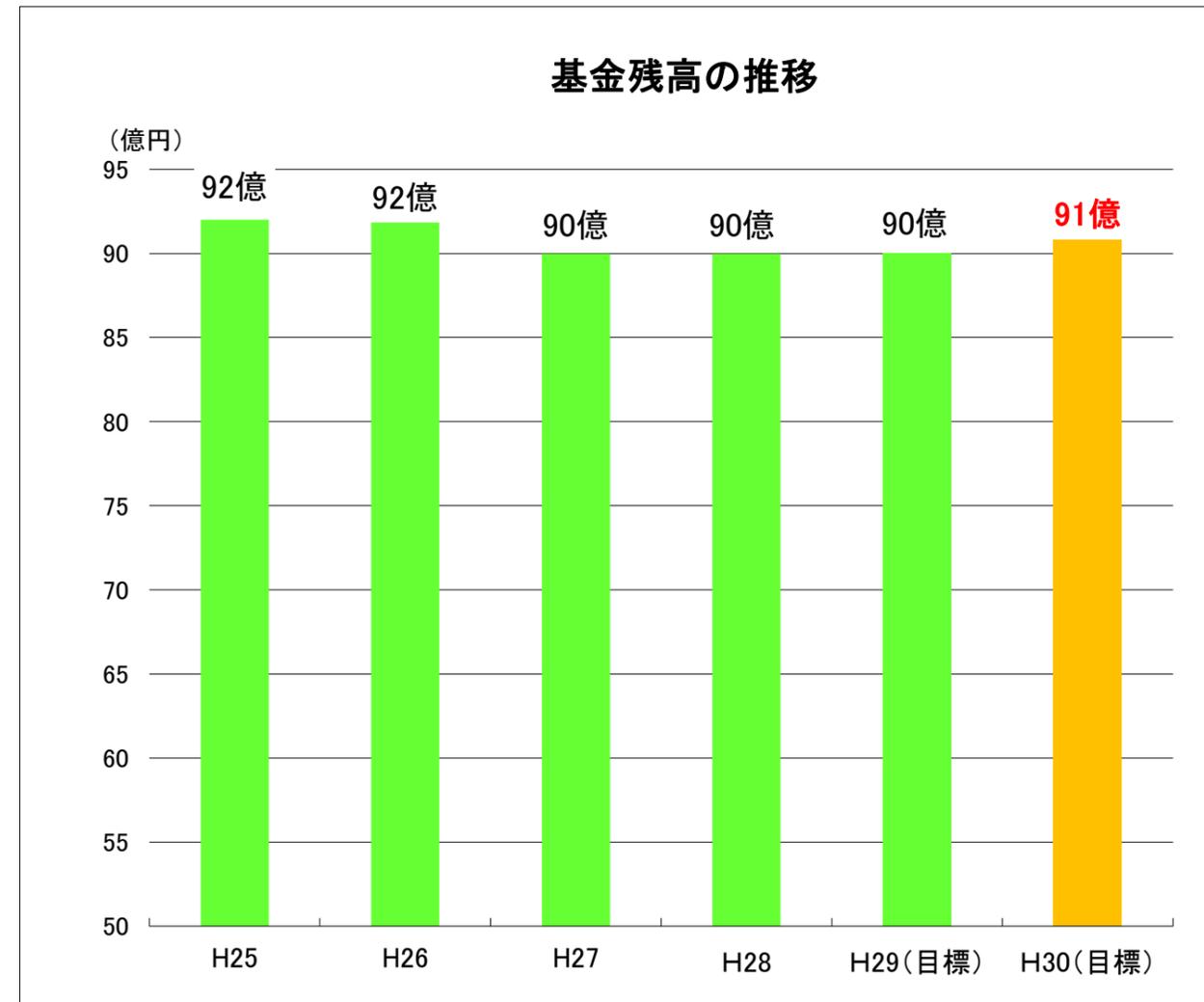


1 市税



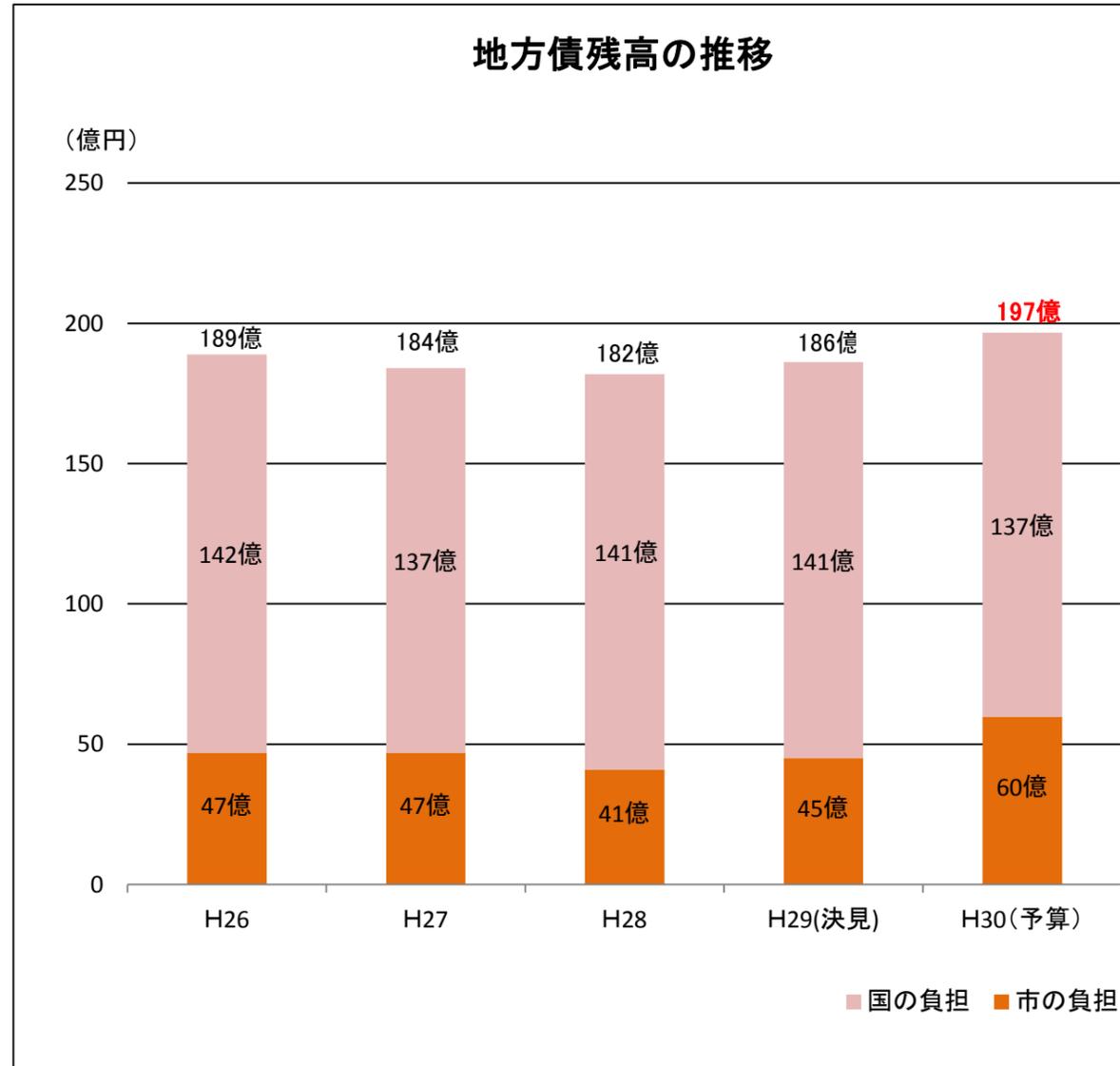
平成30年度の市税は、個人・法人市民税、固定資産税等の増により当初予算としては10年ぶりに70億円台を見込む。

2 基金残高



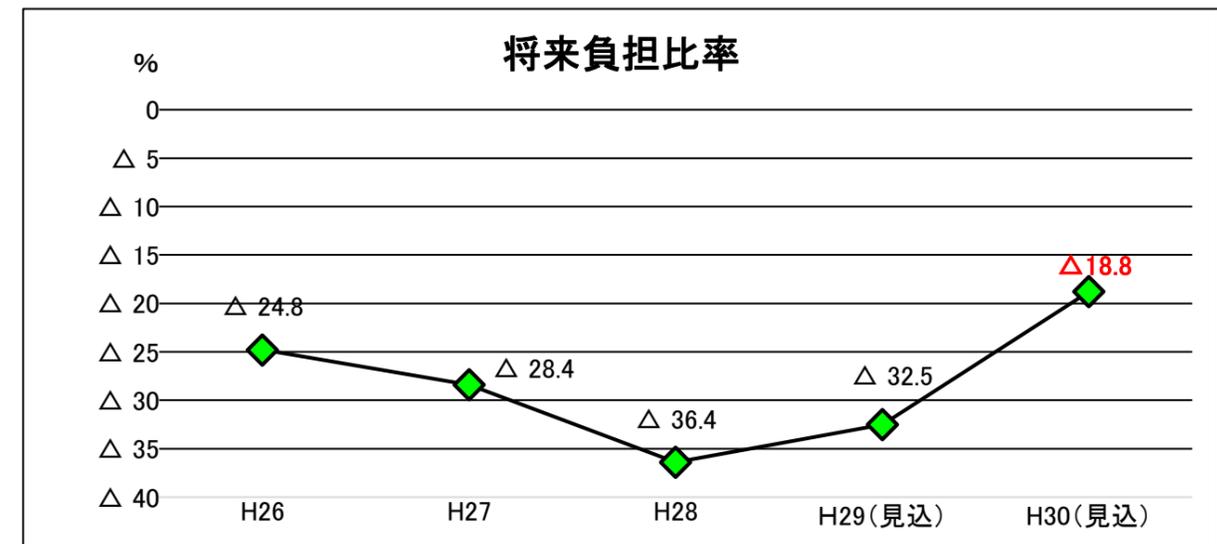
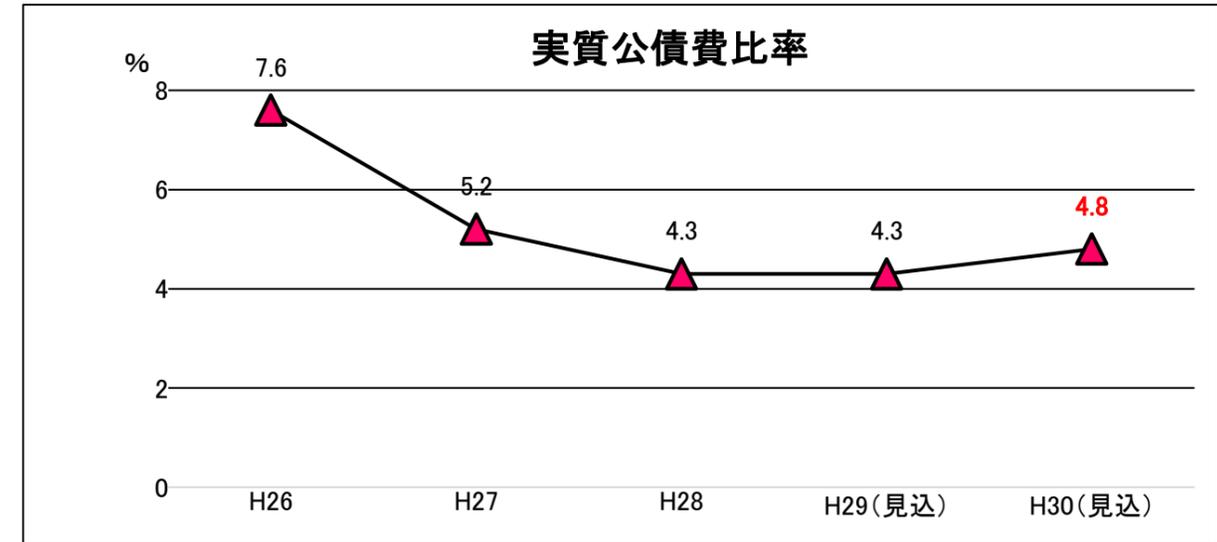
平成30年度末の基金残高の目標値は、91億円。
予算ベースでは、財政基金の取崩額が7.0億円あるが、コスト削減と不用額の捻出等により取崩額の抑制を図る。

3 地方債残高



平成30年度の地方債残高は197億円。
後年度に受けられる国の補填を見込むと、市の実質負担額は残高の3割相当の60億円となる。

4 財政健全化指標



実質公債費比率は、地方債を財源とする大型事業の実施により公債費の増加とともに上昇する。将来負担比率も同様に上昇するものの、充当可能基金の適正管理、国から補填される地方債の活用等により引き続き優良値を維持。